



弘前南SSH通信

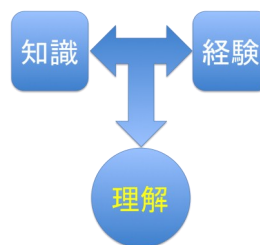


1 スーパーサイエンスハイスクール(SSH)って何？

はじめまして、研究研修部（サイエンス）です。主にSSH業務を担当する部署です。去る3月28日、本校は平成24年度から取り組んできた「科学教育推進計画」が評価され、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されました。SSHは全国に200校ありますが、本校が青森県では唯一であり、5年間で多方面の支援をいただきながら、科学のスペシャリスト、科学教育に関する研究開発を行っていきます。文系の生徒にとっても、生活における科学の正しい知識理解（科学的リテラシー）を深めることは大切なことです。ぜひ積極的にSSH行事に参加しましょう。ではSSHによって何が変わるのかを簡単に説明します。

（1）学校設定科目[1年次]

□南陵ラボⅠ：ラボはラボラトリー（laboratory:実験室、演習）のことで、実験などみなさんの主体的な活動によって21世紀の課題を解決していこうという時間です。総合的な学習の時間とともに、本校では青森県の特徴的な3ER「（エネルギー（energy）、生態学（ecology）、地域産業（endemic）」の資源（resources）からテーマを選び探究型学習を行います。SSHならではの調査、実地研修、研究者との交流、プレゼンテーション等も行います。



□南陵ゼミⅠ：現在は英語の基礎を扱っていますが、様々な科学事象を英語で読んだり表現できたりする英語力の育成を目標とする時間です。英語の教科書にも科学に関する文章、表現が盛り込まれていますが、2月には3ERの研究成果を英語に訳したリーフレットを作り、弘前大学の留学生に英語で紹介する時間を設けています。

（2）校外事業

これまでも弘前大学、東北大学、青森県産業技術センター等と連携して、科学に関する専門的な実験や実習講座を実施してきましたが、SSHによってこれらの機会がさらに増え、内容もより充実したものになります。SSH校指定の外部機関の主催行事に参加する機会も増えます。

*54回生は2年次から理系の1クラスにSSHコースを設置し、サイエンスのスペシャリストを育成するカリキュラムを実施します。

2 現在募集中の校外科学行事



○科学者の卵養成講座（東北大学）[H28.5/28~H29.3/11(月に1回のペースで土曜日実施、計11回)]

東北大学にて科学に関する広領域の講義、実習を年間を通して行います。〈締切5/6、志望理由書必要〉

○科学者発見プロジェクト（弘前大学）[H28.7/1~H28.12/22(弘前大学で随時実験、研究)]

科学の疑問について実験を企画提案、弘前大学の先生と研究を行っていきます。〈締切5/11、実験企画書必要〉

＜SSH担当教員の紹介＞

鎌塚吉忠（地学）、高木和彦（生物）、松村隆太郎（物理）、春日理璃子（英語）

*第一職員室の左側の奥にいます。上記行事への参加希望者は来てください。

次回は「科学オリンピック」について紹介します。